

人間関係の良好な構築は、学校教育はじめ社会生活に不可欠。

- 【1】 ICT活用協議会、相新体育大会、中体連地区大会、全国植樹祭、インディアカ大会など、各種行事への関わりご苦労様でした！。
- 【2】 社会を明るくする運動、食育関係会議・講演会、少年の主張大会など行事が続きますが、よろしくお願ひしたい。
- 【3】 「教師力アップへの挑戦・学び続ける教師」資料。
※別添プリント配布

- 【4】 ICT活用発表会に向けての準備に心を配っていただきたい。

- ・対外的な事業であることを意識しての取り組みを期待したい。
- ・外国語活動、小学校英語と道德の教科化は学校配分を心掛けたい。

- 【5】 不安定な現代社会では、今まで以上に教師の力量・技量が問われる。
「仮説を立てなければ、目標への道筋は見えない」理論的説明

「主体的な学びとなるように」 引きつけるネタ→導入部が肝腎

教材研究を行い、深みを持った問い掛けや仕掛けを構築しておく。

⇔ 子どもたちの興味・関心が引き出せる魅力的な授業展開。
子どもからの言葉を咀嚼しつつ、理解し承認の言葉を発する。

「対話的な学びとなるように」 発声→自己紹介から

⇔ グループで展開させ、協働で解決を討議できる設問設定。
何を話題としているのか、軌道を見定めることが大切。

「個々に応じた学びとなるように」 オン→導線・生活環境

⇔ 個々の状況を把握し、目標に到達できる、乗り越えられるアドバイス（支援・助言指導）の準備。お客さんにしない。

「深い学びとなるように」 教える教わる引き出す→感動の誕生

⇔ 目標到達を全体で承認する。Sへの考え方や、判断を自分の言葉で表現させ、認識を確かなものにさせる仕掛けの準備。